

『図解わかる年金』2015-2016年版 (2015年5月5日初版発行) 補足および訂正

本書で老齢厚生年金などを計算する際の「スライド率」の説明について補足の上、訂正いたします。
ご迷惑をおかけしましたこと、誠に申し訳ございません。

新星出版社

p.77ほか「スライド率」の説明について

老齢厚生年金の「報酬比例部分」の額を計算する際に、本書では従前保障による計算式Cと計算式Dの中で、「 $\times 1.031 \times \text{スライド率} \times 3$ 」と表し、※3において、「スライド率とは物価スライド率のこと(平成27年度は0.970)」としています。(本書、p.77のほか、口絵p.17, 23, 本文p.89, 90, 92~95, 114, 115, 136, 153, 157, 158, 159, 160, 161, 163の計算式中も同様です。)

これは、平成27年度の年金額改定が、平成26年度の特例水準の年金額との比較で0.9%の引き上げになるという厚生労働省の発表から、平成26年度の物価スライド率(0.961)をもとに導き出した数値です。

けれども、その後の厚生労働省の資料によると、計算式Cと計算式Dの「 $\times 1.031 \times \text{スライド率}$ 」(物価スライド特例水準)の部分は平成26年度でなくなり、平成27年度からは「 $\times 0.998$ 」とされております。この0.998は従前額改定率です。また、p.77の報酬比例部分の計算式Aと計算式Bの「 $\times \text{スライド率}$ 」は削除され、p.79に掲載した新再評価率の数値上に反映されています。共済年金の「職域年金部分」の額の計算式も同様です。

本書の計算式A、B、C、Dなどはこのように読み替えてご覧ください。

また、本書の老齢厚生年金の「定額部分」(65歳以降は経過的加算額)の計算式では、「定額単価1,676円 \times 被保険者期間の月数 \times スライド率」としていますが、こちらの計算式については、「定額単価(1,626円 $= 1,628 \times$ 改定率0.999) \times 被保険者期間の月数」と読み替えてご覧ください。(本書、口絵p.17, 23, 本文p.77, 89, 90, 92~95, 97, 153, 154, 157, 158, 159の計算式なども同様です。)

誤 (二重下線部分)	正 (下線部分)
(口絵p.17, 本文p.77, 89, 90, 114, 115, 136) 報酬比例部分 (A+Bの額) A 平成15年3月までの被保険者期間分 平均標準報酬月額 $\times 1000$ 分の9.5~7.125 \times 被保険者期間の月数 \times <u>スライド率</u> B 平成15年4月以降の被保険者期間分 平均標準報酬額 $\times 1000$ 分の7.308~5.481 \times 被保険者期間の月数 \times <u>スライド率</u>	(口絵p.17, 本文p.77, 89, 90, 114, 115, 136) 報酬比例部分 (A+Bの額) A 平成15年3月までの被保険者期間分 平均標準報酬月額 $\times 1000$ 分の9.5~7.125 \times 被保険者期間の月数 B 平成15年4月以降の被保険者期間分 平均標準報酬額 $\times 1000$ 分の7.308~5.481 \times 被保険者期間の月数
(本文p.77, p.136※4, ※8, p.153, 157, 160, 161, 163) 報酬比例部分の従前保障計算 (C+Dの額) C 平成15年3月までの被保険者期間分 平均標準報酬月額 $\times 1000$ 分の10~7.5 \times 被保険者期間の月数 \times <u>1.031\timesスライド率</u> D 平成15年4月以降の被保険者期間分 平均標準報酬額 $\times 1000$ 分の7.692~5.769 \times 被保険者期間の月数 \times <u>1.031\timesスライド率</u>	(本文p.77, p.136※4, ※8, p.153, 157, 160, 161, 163) 報酬比例部分の従前保障計算 (C+Dの額) C 平成15年3月までの被保険者期間分 平均標準報酬月額 $\times 1000$ 分の10~7.5 \times 被保険者期間の月数 \times <u>0.998</u> D 平成15年4月以降の被保険者期間分 平均標準報酬額 $\times 1000$ 分の7.692~5.769 \times 被保険者期間の月数 \times <u>0.998</u>

<p>(口絵 p.23, 本文 p.153, 157, 160, 161, 163)</p> <p>職域年金部分 (A+Bの額)</p> <p>A 平成15年3月までの組合員期間分 平均標準報酬月額×職域年金の給付乗率×組合員期間の月数×スライド率</p> <p>B 平成15年4月以降の組合員期間分 平均標準報酬額×職域年金の給付乗率×組合員期間の月数×スライド率</p>	<p>(口絵 p.23, 本文 p.153, 157, 160, 161, 163)</p> <p>職域年金部分 (A+Bの額)</p> <p>A 平成15年3月までの組合員期間分 平均標準報酬月額×職域年金の給付乗率×組合員期間の月数</p> <p>B 平成15年4月以降の組合員期間分 平均標準報酬額×職域年金の給付乗率×組合員期間の月数</p>
<p>(口絵 p.17, 23, 本文 p.77, 90, 97, 153, 154, 157)</p> <p>定額部分 (65歳以降は経過的加算額) の額</p> <p>定額単価 (<u>1,676</u>円×生年月日に応じた乗率 1.875~1.000) ×被保険者期間の月数×スライド率</p> <p>(本文 p.97, 154 の表中) 定額単価 <u>1,676</u>円</p>	<p>(口絵 p.17, 23, 本文 p.77, 90, 97, 153, 154, 157)</p> <p>定額部分 (65歳以降は経過的加算額) の額</p> <p>定額単価 (<u>1,626</u>円×生年月日に応じた乗率 1.875~1.000) ×被保険者期間の月数</p> <p>(本文 p.97, 154 の表中) 定額単価 <u>1,626</u>円</p>

p.92 計算事例の訂正 (下線部分が訂正後の数値です)

●Aさんの62歳から65歳になるまでの老齢厚生年金の額 (再就職しない場合)

①報酬比例部分=A (平成15年3月まで) + B (平成15年4月以降) =1,177,000円 (100円未満四捨五入)

$$A = 360,000 \text{円} \times 1000 \text{分の} 7.50 \times 267 \text{月} \times 0.998 = 719,458 \text{円}$$

$$B = 519,383 \text{円} \times 1000 \text{分の} 5.769 \times 153 \text{月} \times 0.998 = 457,520 \text{円}$$

●Aさんの65歳からの老齢給付の額 (再就職しない場合)

①報酬比例部分=A+B=1,176,978円

③経過的加算=1,626円×1.000×420月-780,100円×420月/480月
=682,920円-682,588円=332円

【合計額】

↓

$$\textcircled{1} + \textcircled{3} = \underline{1,177,300} \text{円 (100円未満四捨五入)}$$

$$+ \quad \textcircled{2} = 390,100 \text{円}$$

$$+ \quad \textcircled{4} = 682,600 \text{円 (100円未満四捨五入)}$$

$$\text{年金の受給額} \rightarrow \underline{2,250,000} \text{円 (月額換算} = \underline{187,500} \text{円)}$$

p.93 計算事例の訂正 (下線部分が訂正後の数値です)

●Bさんの62歳から65歳になるまでの老齢厚生年金の額 (再就職しない場合)

①報酬比例部分=A (平成15年3月まで) + B (平成15年4月以降) =341,300円 (100円未満四捨五入)

$$A = 380,000 \text{円} \times 1000 \text{分の} 7.50 \times 120 \text{月} \times 0.998 = 341,316 \text{円}$$

$$B = 0 \text{円} \times 1000 \text{分の} 5.769 \times 0 \text{月} \times 0.998 = 0 \text{円}$$

●Bさんの65歳からの老齢給付の額 (再就職しない場合)

①報酬比例部分=A+B=341,316円

③経過的加算=1,626円×1.000×120月-780,100円×120月/480月
=195,120円-195,025円=95円

【合計額】

↓

$$\textcircled{1} + \textcircled{3} = \underline{341,400} \text{円 (100円未満四捨五入)}$$

$$+ \quad \textcircled{2} = 0 \text{円}$$

$$+ \quad \textcircled{4} = 721,600 \text{円 (100円未満四捨五入)}$$

$$\text{年金の受給額} \rightarrow \underline{1,063,000} \text{円 (月額換算} = \underline{88,583} \text{円)}$$

p.94 計算事例の訂正 (下線部分が訂正後の数値です)

●Cさんの62歳から65歳になるまでの老齢厚生年金の額 (再就職しない場合)

①報酬比例部分=A (平成15年3月まで) + B (平成15年4月以降) =1,444,500円 (100円未満四捨五入)

$$A=360,000 \text{円} \times 1000 \text{分の} 7.50 \times 349 \text{月} \times 0.998 = 940,415 \text{円}$$

$$B=564,860 \text{円} \times 1000 \text{分の} 5.769 \times 155 \text{月} \times 0.998 = 504,085 \text{円}$$

●Cさんの65歳からの老齢給付の額 (再就職しない場合)

①報酬比例部分=A+B=1,444,500円

③経過的加算=1,626円 $\times 1.000 \times 480$ 月-780,100円 $\times 480$ 月/480月
=780,480円-780,100円=380円

【合計額】

↓

$$\textcircled{1}+\textcircled{3}=\underline{1,444,900} \text{円 (100円未満四捨五入)}$$

$$+ \quad \textcircled{2}= 390,100 \text{円}$$

$$+ \quad \textcircled{4}= 780,100 \text{円 (100円未満四捨五入)}$$

$$\text{年金の受給額} \rightarrow \underline{2,615,100} \text{円 (月額換算} = \underline{217,925} \text{円)}$$

p.95 計算事例の訂正 (下線部分が訂正後の数値です)

●Dさんの62歳から65歳になるまでの老齢厚生年金の額 (再就職しない場合)

①報酬比例部分=A (平成15年3月まで) + B (平成15年4月以降) =765,400円 (100円未満四捨五入)

$$A=390,000 \text{円} \times 1000 \text{分の} 7.50 \times 86 \text{月} \times 0.998 = 251,047 \text{円}$$

$$B=580,159 \text{円} \times 1000 \text{分の} 5.769 \times 154 \text{月} \times 0.998 = 514,397 \text{円}$$

●Dさんの65歳からの老齢給付の額 (再就職しない場合)

①報酬比例部分=A+B=765,444円

③経過的加算=1,626円 $\times 1.000 \times 240$ 月-780,100円 $\times 240$ 月/480月
=390,240円-390,050円=190円

【合計額】

↓

$$\textcircled{1}+\textcircled{3}= \underline{765,600} \text{円 (100円未満四捨五入)}$$

$$+ \quad \textcircled{2}= 390,100 \text{円}$$

$$+ \quad \textcircled{4}= 682,600 \text{円 (100円未満四捨五入)}$$

$$\text{年金の受給額} \rightarrow \underline{1,838,300} \text{円 (月額換算} = \underline{153,192} \text{円)}$$

p.146 遺族給付の例の例1の訂正 (下線部分が訂正後の数値です)

妻 57歳 遺族厚生年金 (705,800円) 妻 65歳 遺族厚生年金 (705,800円)

合計 1,290,900円

合計 1,485,900円

p.147 遺族給付の例の例2の訂正 (下線部分が訂正後の数値です)

妻 45歳

妻 48歳

妻 51歳

長男 15歳

長男 18歳

長男 21歳

次男 12歳

次男 15歳

次男 18歳

妻 65歳

遺族厚生年金

遺族厚生年金

遺族厚生年金

→ 3パターン

(555,400円)

(555,400円)

(555,400円)

から選択

合計 1,784,500円

合計 1,560,000円

合計 1,140,500円

p.158 計算事例の訂正（下線部分が訂正後の数値です）

$$\bullet 62 \text{ 歳から } 65 \text{ 歳になるまでの年金額} = (\text{㊸} + \text{㊹}) + (1) = \underline{336,825} + \underline{33,683} = \underline{370,500} + \underline{632,000} \\ = 1,002,500 \text{ 円 (100 円未満の端数はそれぞれ四捨五入)}$$

$$\bullet 65 \text{ 歳からの年金額} = (\text{㊸} + \text{㊹} + \text{㊺}) + ((1) + (2)) + (3) + \text{㊻} = \underline{370,700} + \underline{632,200} + 390,100 + 702,100 \\ = \underline{2,095,100} \text{ 円 (100 円未満の端数はそれぞれ四捨五入)}$$

①退職共済年金

$$\text{㊸ 報酬比例部分} = A \text{ (平成 15 年 3 月まで)} + B \text{ (平成 15 年 4 月以降)} = \underline{336,800} \text{ 円 (100 円未満四捨五入)} \\ A = 250,000 \text{ 円} \times 1000 \text{ 分の } 7.50 \times 180 \text{ 月} \times \underline{0.998} = \underline{336,825} \text{ 円} \quad B = 0 \text{ 円}$$

$$\text{㊹ 職域年金部分} = C \text{ (平成 15 年 3 月まで)} + D \text{ (平成 15 年 4 月以降)} = \underline{33,700} \text{ 円 (100 円未満四捨五入)} \\ C = 250,000 \text{ 円} \times 1000 \text{ 分の } 0.75 \times 180 \text{ 月} \times \underline{0.998} = \underline{33,683} \text{ 円} \quad D = 0 \text{ 円}$$

$$\text{㊺ 経過的加算} = \underline{1,626} \text{ 円} \times 1.000 \times 180 \text{ 月} - 780,100 \text{ 円} \times 180 \text{ 月} / 480 \text{ 月} = \underline{292,680} \text{ 円} - 292,538 \text{ 円} = \underline{142} \text{ 円}$$

②老齢厚生年金

$$(1) \text{ 報酬比例部分} = E \text{ (平成 15 年 3 月まで)} + F \text{ (平成 15 年 4 月以降)} = \underline{632,000} \text{ 円 (100 円未満四捨五入)} \\ E = 300,000 \text{ 円} \times 1000 \text{ 分の } 7.50 \times 104 \text{ 月} \times \underline{0.998} = \underline{233,532} \text{ 円}$$

$$F = 467,630 \text{ 円} \times 1000 \text{ 分の } 5.769 \times 148 \text{ 月} \times \underline{0.998} = \underline{398,469} \text{ 円}$$

$$(2) \text{ 経過的加算} = \underline{1,626} \text{ 円} \times 1.000 \times 252 \text{ 月} - 780,100 \text{ 円} \times 252 \text{ 月} / 480 \text{ 月} = \underline{409,752} \text{ 円} - 409,553 \text{ 円} = \underline{199} \text{ 円}$$

p.159 計算事例の訂正（下線部分が訂正後の数値です）

$$\bullet 62 \text{ 歳から } 65 \text{ 歳になるまでの年金額} = (1) + (\text{㊸} + \text{㊹}) = \underline{197,600} + \underline{962,500} + \underline{192,500} \\ = \underline{1,352,600} \text{ 円 (100 円未満の端数はそれぞれ四捨五入)}$$

$$\bullet 65 \text{ 歳からの年金額} = ((1) + (2)) (\text{㊸} + \text{㊹} + \text{㊺}) + \text{㊻} + \text{㊼} = \underline{197,700} + \underline{1,155,200} + 390,100 + 741,100 \\ = \underline{2,484,100} \text{ 円 (100 円未満の端数はそれぞれ四捨五入)}$$

①老齢厚生年金

$$(1) \text{ 報酬比例部分} = A \text{ (平成 15 年 3 月まで)} + B \text{ (平成 15 年 4 月以降)} = \underline{197,600} \text{ 円 (100 円未満四捨五入)} \\ A = 220,000 \text{ 円} \times 1000 \text{ 分の } 7.50 \times 120 \text{ 月} \times \underline{0.998} = \underline{197,604} \text{ 円} \quad B = 0 \text{ 円}$$

$$(2) \text{ 経過的加算} = \underline{1,626} \text{ 円} \times 1.000 \times 120 \text{ 月} - 780,100 \text{ 円} \times 120 \text{ 月} / 480 \text{ 月} = \underline{195,120} \text{ 円} - 195,025 \text{ 円} = \underline{95} \text{ 円}$$

②退職共済年金

$$\text{㊸ 報酬比例部分} = C \text{ (平成 15 年 3 月まで)} + D \text{ (平成 15 年 4 月以降)} = \underline{962,500} \text{ 円 (100 円未満四捨五入)} \\ C = 380,000 \text{ 円} \times 1000 \text{ 分の } 7.50 \times 181 \text{ 月} \times \underline{0.998} = \underline{514,818} \text{ 円}$$

$$D = 501,616 \text{ 円} \times 1000 \text{ 分の } 5.769 \times 155 \text{ 月} \times \underline{0.998} = \underline{447,646} \text{ 円}$$

$$\text{㊹ 職域年金部分} = E \text{ (平成 15 年 3 月まで)} + F \text{ (平成 15 年 4 月以降)} = \underline{192,500} \text{ 円 (100 円未満四捨五入)} \\ E = 380,000 \text{ 円} \times 1000 \text{ 分の } 1.50 \times 181 \text{ 月} \times \underline{0.998} = \underline{102,964} \text{ 円}$$

$$F = 501,616 \text{ 円} \times 1000 \text{ 分の } 1.154 \times 155 \text{ 月} \times \underline{0.998} = \underline{89,545} \text{ 円}$$

$$\text{㊺ 経過的加算} = \underline{1,626} \text{ 円} \times 1.000 \times 336 \text{ 月} - 780,100 \text{ 円} \times 336 \text{ 月} / 480 \text{ 月} = \underline{546,336} \text{ 円} - 546,070 \text{ 円} = \underline{266} \text{ 円}$$

以上